

## 只見振興センター新築事業

# 只見振興センターが新しく生まれ変わる！



▲平成26年度に取り壊された只見総合開発センター

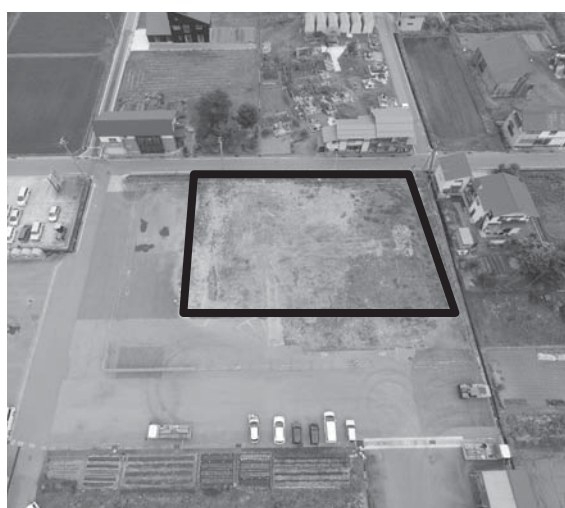
### ……新築の背景……

只見地区センター（現・只見振興センター）が設置されていた只見総合開発センターは、只見地区における産業基盤と生活環境の向上などを目的に、地域の拠点施設として昭和46年に建設されました。

建設後は、町をあげての文化祭や結婚式会場、各種催し物会場など交流の場等としても広く活用されてきましたが、平成20年に実施した耐震診断により、耐震性が低いことが判明し、建物の補強や新築工事について検討され、費用対効果の面から解体されることが決定しました。

平成23年3月に発生した東日本大震災により、建物が更にダメージを受けたため、同年5月に活動の拠点を旧只見中学校に移し、現在に至ります。

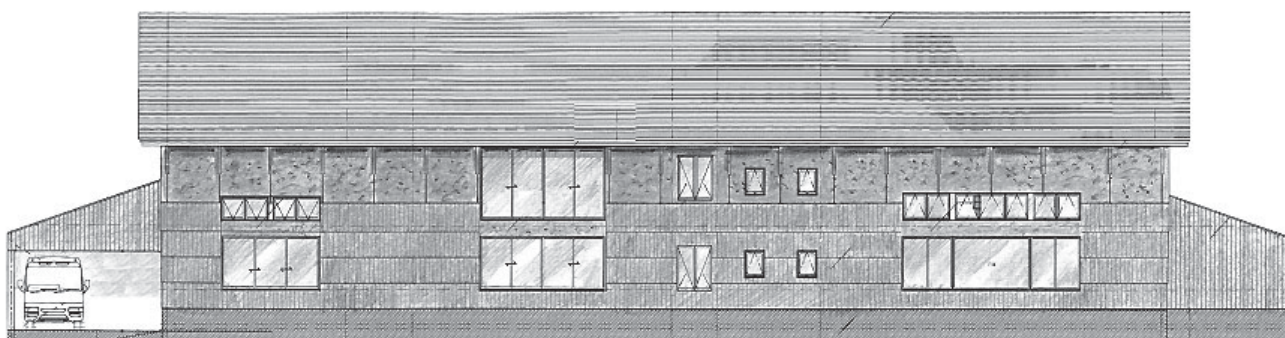
その後、役場庁舎との合築なども検討しましたが、多くの町民から別築について強い要望があり、平成25年10月に役場庁舎とは別築とすることとなりました。



▲只見振興センターは、只見総合開発センターと同じ場所に建設されます

別築決定後、只見振興センターの基本構想策定のため、町民や関係者等と意見交換会を繰り返し、更には只見振興センター建設検討委員会を設置し、具体的な基本構想の取りまとめを進めてきました。基本設計・実施設計を経て、地盤改良・本体工事を美馬建設㈱、電気工事を(有)本多電気工務店、設計監理を㈱環境システム研究所に各々委託契約しています。

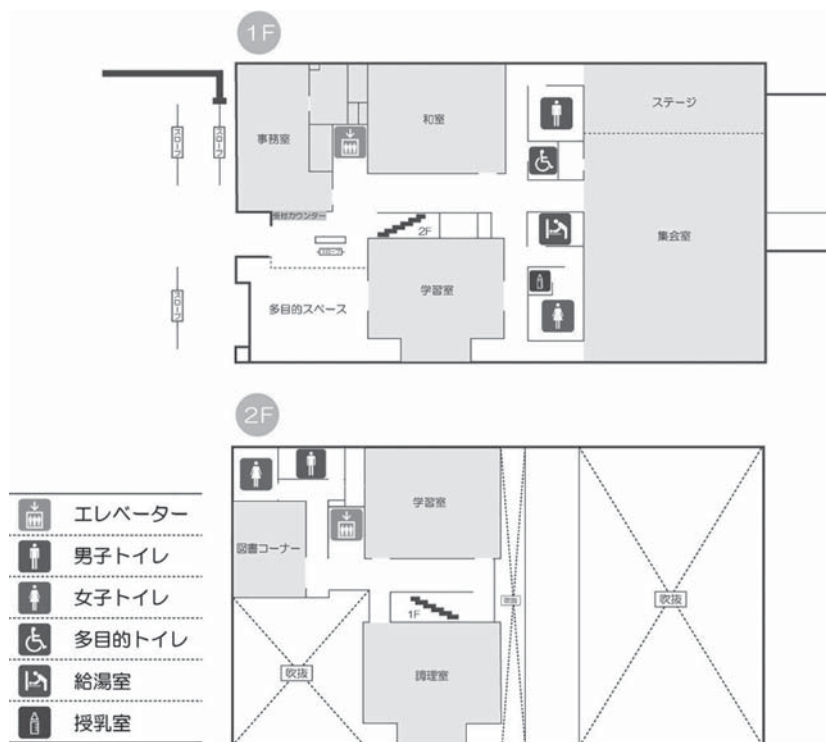
## 完成予想図



### …… 建設の概要 ……

- ◆所在地  
只見町大字只見字宮前1390
- ◆構造  
木造2階建  
(建物の一部に町産材を使用)
- ◆床面積  
(1F)741.94㎡  
(2F)257.61㎡  
合計 999.55㎡(※本棟の面積)
- ◆工期  
H28年6月20日  
～H29年3月31日
- ◆工事費(地盤改良工事・本体・電気)  
約530,000,000円
- ◆設計監理  
(株)環境システム研究所
- ◆工事施工  
・美馬建設(株)  
・(有)本多電気工事店

## 平面図



## 只見振興センターの特徴

1. 地域のお茶の間や住民の活動拠点となるよう、1Fにコーヒブレイクが気軽にできる土間(多目的スペース)を設置し、老若男女を問わず気兼ねなく集える空間を設けます。
2. コンパクトな施設でありながら、地域住民の避難場所として安心して使用できるよう機能を充実します。
3. 町の林業の振興を図るために、町産材(スギ・カラマツ)を建築材料に活用します。